

2011 年 11 月 30 日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

産学連携事業

アルフレッサ日建産業との産学連携協定 締結調印式

中部学院大学（岡本 健 学長）ならびに中部学院大学短期大学部（片桐 多恵子 学長）はアルフレッサ日建産業株式会社（林 一成 社長）と、連携協定を結ぶことになりました。

同社とは、各地域における社会福祉の発展のために、互いに支援・協力することで合意しました。協定の趣旨は、**①地域経済の活性化、福祉環境向上への支援 ②少子高齢社会で発生する諸課題に対する調査研究、提言 ③地域産業の進行、企業の育成支援 ④人材の交流、育成**などを挙げています。

具体的には、▼両者のメンバーによる研究会を設置し、地域福祉、介護分野の課題提起、解決について提言をまとめ、行政や社会に発信する▼本学が開発した福祉機器、介護メソッドなどの評価・モニタリングを行う▼共同して地域福祉の向上に資する施策を展開することなどに取り組んでいきます。（詳細は別紙参照）

記

■ 日 時 2011（平成 23）年 12 月 6 日 11 時 30 分から正午

■ 場 所 中部学院大学 関キャンパス 大会議室
（関市桐ヶ丘二丁目 1 番地 TEL：0575-24-2211）

■ 日 程 11：15 受付開始
11：30 開会（経過と趣旨説明）
11：40 連携協定の調印式（署名）
11：50 ごあいさつ
12：00 写真撮影 閉会

■ 出席者 中部学院大学 岡本 健 学長
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長
アルフレッサ日建産業株式会社 林 一成 代表取締役社長 ほか

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 総合研究センター（担当：村上） TEL:0575-24-2238

アルフレッサ日建産業株式会社との連携協定について

■ 経 過

本学とアルフレッサ日建産業株式会社とは、同社の運営する「NPO 法人地域活性化支援ネットワークぎふ」の会員に行っている勉強会やセミナーに、本学の教授らが講師を務めることを重ねてきました。一方、本学が実施している講座「現代産業研究」に、同社の林一成社長を講師としてお招きし、業界の動向や将来性について講義していただきました。

また、同社は、県下第 2 位の医薬品卸業者であり近年、調剤事業など新分野への進出もしています。2000（平成 12）年に、将来の成長分野と捉えて訪問介護事業に参入。翌 01 年は介護部門を分社化して日建ヘルスメディカル株式会社を設立。現在は 4 事業所で業務を展開しています。また、昨年には地域の訪問介護事業者を中心に岐阜県訪問介護協会を設立するなど、地域の社会貢献を目指しています。医療・介護・福祉分野の優良企業と、同分野で将来活躍する人材を育成している本学が連携協定を締結することで、より地域社会に貢献することが期待されます。

■ アルフレッサ日建産業株式会社

アルフレッサ日建産業株式会社は、1947（昭和 22）年創業の老舗薬品卸で、岐阜市に本社を置きます。2005 年にアルフレッサ株式会社と資本提携を行い、同社の岐阜県内の営業基盤を継承したことから業容を拡大。2010 年 3 月期には年商 400 億円を計上しました。

■ 協定の趣旨

- (1) 地域経済の活性化、福祉環境向上への支援
- (2) 少子高齢化社会で発生する諸課題に対する調査研究、提言
- (3) 地域産業の振興、企業の育成支援
- (4) 人材の交流並びに育成
- (5) その他、産学連携活動に寄与する事項の推進

■ 連携事業（案）

- (1) 両者のメンバーによる研究会を設置し、地域福祉、介護分野の課題提起、課題解決についての提言を行政並びに社会に発信する。
- (2) 本学が開発した福祉機器、介護メソッドなどの評価・モニタリングを行う。
- (3) その他、共同して地域福祉の向上に資する施策を展開する。

■ 調印式の予定

日 時：2011年12月6日（金）11時30分～

会 場：中部学院大学 関キャンパス 大会議室

[来校者名]

アルフレッサ日建産業株式会社

林 一成 代表取締役社長

和田 昭夫 取締役常務執行役員

堀 政典 執行役員

中部学院大学・同短期大学部

岡本 健 大学学長

片桐 多恵子 短期大学部学長

小川 克正 大学副学長

飯尾 良英 地域連携推進センター所長

宮嶋 淳 地域連携推進センター副所長

平野 増行 事務局長

今井 春昭 事務局次長

田口 清吾 事務局次長

村上 進 総合研究センター事務室長